

44点決定 入選作品 いろいろはかるたで健康チェック!

64人から400点の応募がありました



む 向日市を すみから すみまで ウォーキング



い 一年に 一度は 健康診断 受けたい



あ 汗を流して リフレッシュ

健康をテーマに広く市民から募集していた「向日市健康いろいろはかるた」の入選作品が決まりました。 「市民みんなの笑顔が輝く健康都市」づくりを進めている市では、平成8年度に厚生省の「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン事業」のモデル指定都市になりました。 これを機会に、市民のみなさんにもっと健康を身近な問題として考えていただき、一緒に健康づくりに取り組んでいけるように、健康をテーマにして募集したものです。 作品は、12才の児童から79才の方まで、合計64人400点の応募があり、市民のみなさんの健康に対する関心の高さがうかがわれます。 選考には、同プラン策定委員会のメンバーら5人が、向日市の健康づくりにふさわし

向日市健康いろいろはかるた 入選作品

① 健康診断

(い) 一年に 一度は受けた健康診断 (ろ) 老化を防ぐ 手先の運動 1・2・3 (は) 歯を残そう 80歳まで 20本 (に) っこり笑顔は 心の健康 (ほ) ほったが リンゴの ような 健康美 (へ) 偏食を せず何でも 食べようね (と) 童心に か へり駆けっこ 孫 たちと



② 朝食を 毎日食べて 元気よく

(き) 朝食を 毎日食べて 元気よく

③ 若さの秘訣は 好奇心

(り) 理屈より 実践第一 先ず歩こう (ぬ) めくもりを 込めた弁当 母の味 (る) るるるるる らずむ歌 声 心もうきうき (か) 間食を 控える気持ち が 健康に (よ) よく噛むと 脳も働き 肥満も防止 (た) 食べた後 歯磨きしつかり 歯の健康 (れ) 冷房も 適温管理で 健康管理 (そ) 外から帰れば 必ずうらえがおに 福や ぞる

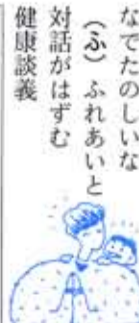
④ 乗り物に 乗らずに歩こう 少しでも

(お) 大声で 笑 うえがおに 福や ぞる (て) てをつなごう みんな なかよし えがおのまち (あ) 汗を流して リフレッシュ (さ) 桜咲く 向日神社の 散歩かな



⑤ 休養も 健康つくる 一要素

(く) くよくよと 考えこまずに 明るい毎日 (ま) 万歩計 今日ほどだ け 歩いたか (け) 健康かるた 家族みんな でのたのしいな (ふ) ふれあいと 対話がはずむ 健康談義 (え) 塩分を 控えて予防 高血圧 (し) 市民検診 受けて心に ゆとり持ち (ひ) ひまわりのような 明るい笑顔の 街づくり (も) もう一服 タバコの 吸いすぎ ガンのもと (せ) 成人病 防ごうあなた の 心がけ (す) すくすくと たけのこのように 育ってね



⑥ こんなには 元気の泉

(や) 野菜をたべて 美しく (ゆ) 夢を持ち 前向きに生 きていこう 人生を (ま) 万歩計 今日ほどだ け 歩いたか (め) 目の疲れ いやす緑の 竹林 (ふ) ふれあいと 対話がはずむ 健康談義 (み) 見直そう 生活習慣 自分の 健康



市では、21世紀初頭の本格的な高齢社会の到来に備え、高齢者の自立と社会参加を求めるとともに、高齢者等が安全で快適に暮らせるまちづくりの指針となる「向日市長寿社会プラン」を策定しました。 このプランは、福祉や保健医療の分野にとどまらず生涯学習や地域活動、経済活動、住宅など多岐にわたる長寿社会対策の諸課題に対応していくもので、明日の社会を担う若い世代や、これから高齢期に向かう世代も含めた総合的な長寿社会対策として、すべての人が健康で生き生きと暮らせる、豊かな長寿社会の実現を目指しています。 プランの策定については庁内に向日市長寿社会対策推進委員会を設置し、長寿社会対策の意見調整を図り 原案を作成しました。また、幅広く市民関係団体の意向や識者から意見を聞くため向日市長寿社会プラン策定協議会を設置し、平成8年3月にプランをまとめ、市長に提言されました。 このプランは、(1)ノーマライゼーション、(2)人権、(3)自立した生活、(4)コミュニティ、(5)男女共同参画社会の実現、(6)公・民の役割分担の6つの基本理念を柱に次のような8つの基本目標で構成されています。 1、くつろぎのあるまちづくりー住まいと環境ー 2、やすらかなまちづくりー在宅福祉と地域福祉ー 3、すこやかなまちづくりー健康づくりと保健医療ー 4、ふれあいのあるまちづくりー社会参加と交流ー 5、ゆたかなまちづくりー学びと仕事ー 6、うるおいのあるまちづくりー花と緑のまちー 7、やさしさのあるまちづくりー公共施設と道徳環境ー 8、やすらぎのあるまちづくりー防災と安全ー また、プランの推進にあたり、これらの諸課題に対応するため、行政をはじめ 市民・地域、企業・職域、社会福祉団体等からなる4つの行動計画で、それぞれの役割を明確にし、主体的に取り組み、進めていくこととしています。 ▽記念講演会 9月30日(午後2時) 福祉会館大会議室 講師 小國 英夫さん (プラン策定協議会会長) 愛知県立大学文学部教授

向日市長寿社会プランを策定